

ペアーズの利用実態および強制退会・ブロックに関するアンケート調査

調査概要

項目	内容
調査名	ペアーズの利用実態および強制退会・ブロックに関するアンケート調査
調査主体	当メディア編集部
調査対象	ペアーズ(Pairs)の利用経験がある男女
調査期間	2026年2月1日～2026年2月15日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシングサイトを利用)
調査人数	300名
調査対象者性別	男性150名、女性150名
調査対象者年齢	18歳～50代以上

調査対象者 地域	全国
----------	----

※本調査は当サイト独自調査です。

アンケート調査結果

1. あなたの年代を教えてください。

選択肢	回答数	割合(%)
18～24歳	66名	22.0%
25～29歳	96名	32.0%
30～34歳	81名	27.0%
35～39歳	39名	13.0%
40歳以上	18名	6.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

ペアーズ利用者の中心層は25歳から34歳で、全体の約6割(59%)を占めており、結婚や将来を意識し始める年代の利用が活発であることがわかります。

次いで18～24歳の若年層が22%と多く、恋活目的の学生や新社会人にも広く浸透していることが伺えます。

35歳以上の割合はやや減少しますが、幅広い年代に支持されている国内最大級のマッチングアプリならではの分散傾向が見て取れます。

2. ペアーズを利用した主な目的は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
結婚を見据えた真剣な出会い	105名	35.0%
将来を考えられる恋人探し	120名	40.0%
まずは気軽な恋人・友達作り	45名	15.0%
趣味や価値観が合う人との交流	21名	7.0%
デート相手や遊び相手探し	9名	3.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

約75%のユーザーが「真剣な出会い」や「将来を考えられる恋人探し」を目的としており、ペアーズが真面目な恋活・婚活に強いアプリであることが裏付けられました。

気軽な出会いや遊び目的のユーザーは2割未満にとどまっており、誠実なパートナー探しを求めている方にとって非常に適した環境であると言えます。

3. ペアーズの「強制退会」の仕組みについて知っていますか？

選択肢	回答数	割合(%)
詳細な理由や条件まで知っている	36名	12.0%
なんとなくの仕組みは知っている	114名	38.0%
言葉は知っているが詳細は知らない	96名	32.0%
全く知らなかった	54名	18.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

「強制退会」という言葉や大まかな仕組みを知っている層が全体の約8割を占めるものの、詳細な理由や条件まで把握しているユーザーは12%にとどまりました。

多くの利用者が運営による安全対策の存在を認識しつつも、具体的な適用基準については理解が曖昧であることがわかります。

いざという時に備え、利用規約や禁止事項の事前確認が推奨されます。

4. マッチ相手が強制退会(または退会済み)になった経験はありますか？

選択肢	回答数	割合(%)
強制退会になった人がいた	42名	14.0%
「退会済み」表示になった人がいた	147名	49.0%

両方の経験がある	51名	17.0%
どちらも経験したことはない	60名	20.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

全体の8割のユーザーが、やり取りをしていた相手が「退会済み」や「強制退会」になった経験を持っています。

特に「退会済み」表示に遭遇した割合が高く、これは通常の退会だけでなく自身がブロックされた場合も含まれるためです。

強制退会に遭遇した割合も約3割おり、運営のパトロール体制がしっかりと機能している証拠とも言えます。

5. 「強制退会」と「ブロック」の違いを理解していますか？

選択肢	回答数	割合(%)
明確に違いを理解している	69名	23.0%
なんとなく違いがわかる	105名	35.0%
違いがあることは知っている	81名	27.0%
同じものだと思っていた	45名	15.0%

合計	300名	100.0%
----	------	--------

【解説】

「強制退会」と「ブロック」の違いについて、明確に理解している層は23%にとどまりました。

多くの方が「なんとなくわかる」「違うことは知っている」と回答しており、画面上の表示が似ていることから混同しやすい実態が浮き彫りになりました。

相手と急に連絡が取れなくなった際、どちらのケースに該当するのか正しく見極める知識が必要です。

6. 悪質なユーザーに遭遇した際、どのような対応をしましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
すぐに運営に通報・報告した	66名	22.0%
相手をブロック・非表示にした	153名	51.0%
メッセージのやり取りを無視した	57名	19.0%
運営に相談せず自ら退会した	9名	3.0%
特に何もせず放置した	15名	5.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

悪質なユーザーに遭遇した場合、半数以上の51%が「ブロック・非表示」を活用して自衛しています。

一方で、運営へ通報・報告するユーザーは22%でした。

まずは自分自身で相手を物理的に遮断する傾向が強いですが、アプリ全体の安全性を高め、他のユーザーへの被害を防ぐためにも、明らかな規約違反者に対しては運営への報告を行うことが望ましいと言えます。

7. ペアーズを安全に使う上で、最も気をつけている事は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
すぐにLINE等へ移行しない	84名	28.0%
プロフィールや写真をよく確認する	93名	31.0%
初回は昼間や人目の多い場所で会う	63名	21.0%
メッセージで不審な点がないか探る	36名	12.0%
本人確認済みの相手とだけやり取りする	24名	8.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

安全対策として最も重視されているのは「プロフィールや写真の確認」と「すぐにLINE等へ移行しない」ことでした。

事前の情報収集と、アプリ内でのメッセージ交換を通じて相手の信頼性を図るユーザーが多いことがわかります。

また「初回は昼間に会う」など物理的な安全確保を意識する声も多く、慎重に距離を縮める誠実な姿勢が伺えます。

